

6月11日（火） 13：00開始 郡山市

6月院内集会（於：郡山駅前MARUCO）

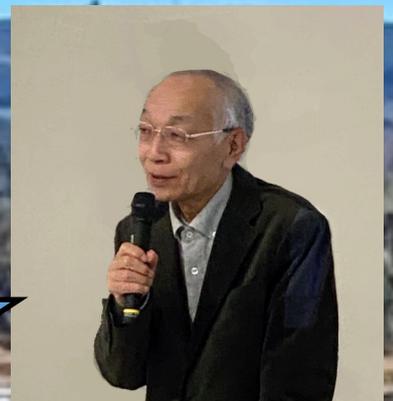
演題：原子力基本法改正をどう評価するか

今後、エネルギー政策のなかで原発をどうするかを考えるに当たっては、もう少し、細かく内容を調べるとともに、他の電源との比較をするのであれば、他の電源についても長所短所について同じように細かく調べる必要がある。さらにその評価に当たっては、新たな科学技術上の発見、技術の進歩の状況、資源などの枯渇見通し、地政学的な条件の変化、電力需要の質、量などの変化、世界情勢の変化、人々のリスクの受け止め方など、現状だけでなくこれらの傾向にも配慮していく必要がある。

原子力基本法改正で打ち出している原子力回帰について、実現不可能だ。

6/11火
要事前申込

講師 北村俊郎



講師プロフィール

1944年滋賀県生まれ。1967年、慶應義塾大学経済学部卒業後、日本原子力発電株式会社に入社。本社のほか東海発電所、敦賀発電所、福井事務所など現場勤務を経験したのち、理事・社長室長、直営化推進プロジェクトリーダーを歴任。主に労働安全、教育訓練、地域対応、人事管理などに携わり、2005年に退職。同年から2012年まで社団法人日本原子力産業協会参事。福島第一原発の事故により、現在も須賀川市で避難生活を続けている。

参加申込は ⇒

<https://x.gd/ZEzKL>



SVCF

公益社団法人 福島原発行動隊
Skilled Veterans Corps for Fukushima